

17日に四国4県を舞台に開幕した2023年度全国中学校体育大会（全中）は、柔道と水泳の2競技が鳴門アミノバリューホールなどで行われた。徳島県勢は、柔道女子団体の生光学園が予選リーグを2戦全勝の1位で通過した後、16チームによる決勝トーナメントの1回戦で富士学苑（山梨）に1-2で敗れ、8強入りを逃した。開催地

全国中学校 2023

体育大会

第1日

で出場した上板は予選リーグで2敗の3位となり、決勝トーナメントに進めなかった。水泳は女子800m自由形の湊上結夢（鴨島一）が自身の県中学記録を上回る9分7秒46で上位8人に入り、18日の決勝に進出した。第2日は軟式野球、柔道、剣道、相撲、新体操、水泳の6競技が予定されている。（1面参照）

生光学園女子 8強逃す

上板は予選突破ならず

柔道

（鳴門アミノバリューホール）

（徳島県関係と決勝）

（女子）団体予選リーグ組

小佐々 1-1 上板

（長崎）

内容勝ち

小 宗 引分け

前 川 優勝

西 江 佐野

（広島）

（富山）

永 3-0 上板

技 合わせ

保 板

小 畑 優勝

（岡山）

（生光学園）

2-0 長分

（大分）

（生光学園）

3-0 新発田

（新潟）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

（上板は予選リーグ敗退）

出。

（富士学苑）

2-1 生光学園

（山梨）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（岡山）

（矢） 菅 眉 小 畑
○勝 又 反勝 渋谷
▽決勝
五條東 1-0 敬 愛
（奈良）
五條東は4年ぶり2度目の優勝。

相手猛攻で後手に 生光学園

悔し涙が止まらなかった。地元優勝を狙った生光学園女子は、決勝トーナメント1回戦で富士学苑（山梨）に1-2で敗れ、8強入りを逃した。反則負けを喫して、先鋒は「相手の力を通り、先鋒（せんぽう）が上だった」とうなだれた。

の岡田が開始41秒に縦四方固めで一本勝ち。崩れた相手の下に潜り込み、つかんだ襟を引き付けて反転させた。流れをつくる役割を果たし、「得意な形で決められた」と振り返った。

だが、中堅戦は後がない相手の猛攻に、小畑が後手に回ってしまう。自ら技を掛けられず、最後は寝技で敗退。「何もできずに負けてしまった」と大粒の涙を流した。

普段から一緒に練習する生光学園高は、頂点を目指した全国高校総体で8強入りを逃した。「生光はもっと強いと全国に示そう」。先輩の無念を全中で晴らすはずだったが、力を出し切れなかった。小畑主将は「気持ち切り替え、個人戦に全てをぶつける」と前を向いた。

女子団体決勝トーナメント1回戦・生光学園対富士学苑 先鋒戦で相手と激しく組み手を取り合う生光学園の岡田（左）＝鳴門アミノバリューホール（立花善晴撮影）

（秋月悠）